

## 「膜分離活性汚泥法を用いたサテライト処理適用化実証事業」について

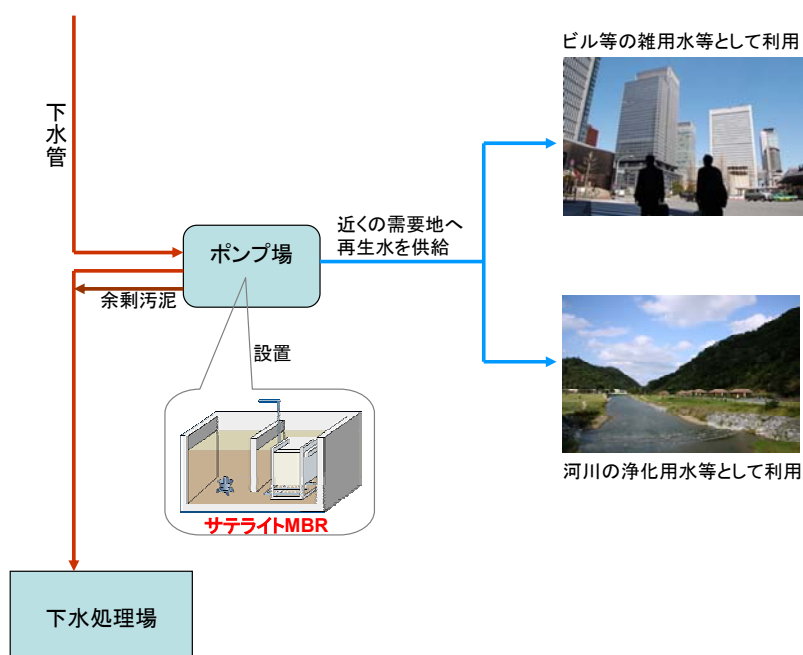
### 1. 事業の目的

膜分離活性汚泥法（MBR）を活用したサテライト処理（再生水利用を目的として下水処理場に至る前の下水管から下水を取り込んで処理を行うこと）の適用性について、実際の下水処理場で実証し、今後の本格的な MBR 普及に向けて必要な知見やデータを集積することを目的とする。

### 2. 事業の内容

MBR を活用してサテライト処理を行うサテライト MBR システム（数百～1,000m<sup>3</sup>/日規模を想定）を導入し、以下の事項について調査・検討の上、得られた知見やデータを報告書としてとりまとめる。

- (1) サテライト MBR システム導入に必要な施設（膜モジュール吊り上げ装置、洗浄用施設等）の配置上の留意点
- (2) サテライト MBR システムの最適運転条件
- (3) 流入下水の量的・質的変動に対する処理の安定性
- (4) サテライト MBR システム処理水の再生水としての適用可能性
- (5) サテライト MBR システムから発生する余剰汚泥等の下水管への返送にあたっての留意事項
- (6) 設置、運転に係るコスト構造の把握及びコスト縮減方策の検討
- (7) その他必要な事項



MBR を活用したサテライト処理のイメージ